

2026年8月 治安情勢

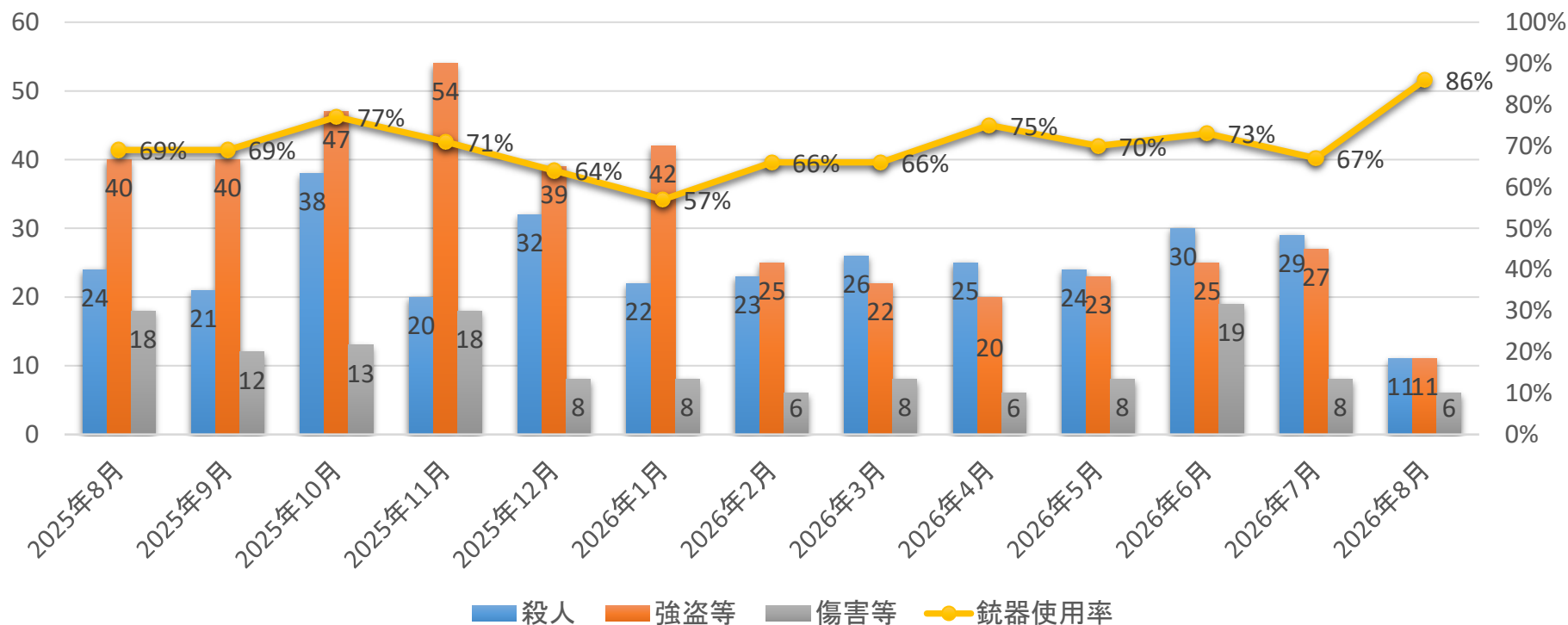
トリニダード・トバゴ及び当館管轄国

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

管轄国別 犯罪発生件数（2026年8月）

	国名	殺人	強盗等	傷害等	誘拐	性犯罪	銃器 使用率
1	トリニダード・トバゴ	1 1	1 1	6	1	0	8 6 %
2	ガイアナ	5	6	6	4	0	4 8 %
3	グレナダ	0	0	0	0	0	0 %
4	スリナム	0	1	0	0	0	1 0 0 %
5	セントビンセント	3	1	2	0	0	1 0 0 %
6	セントルシア	2	0	0	0	0	5 0 %

犯罪発生推移（トリニダード・トバゴ）



8月中の犯罪発生状況は、殺人件数・強盗等件数ともに前月から明確な減少が見られます。犯罪の認知件数自体は改善傾向を示しているものの、発生事案の86%で銃器が使用されている点には引き続き留意が必要であり、基本的な防犯・安全対策の継続が求められます。

些細なトラブルが致命傷へ

極めて高い銃器使用率

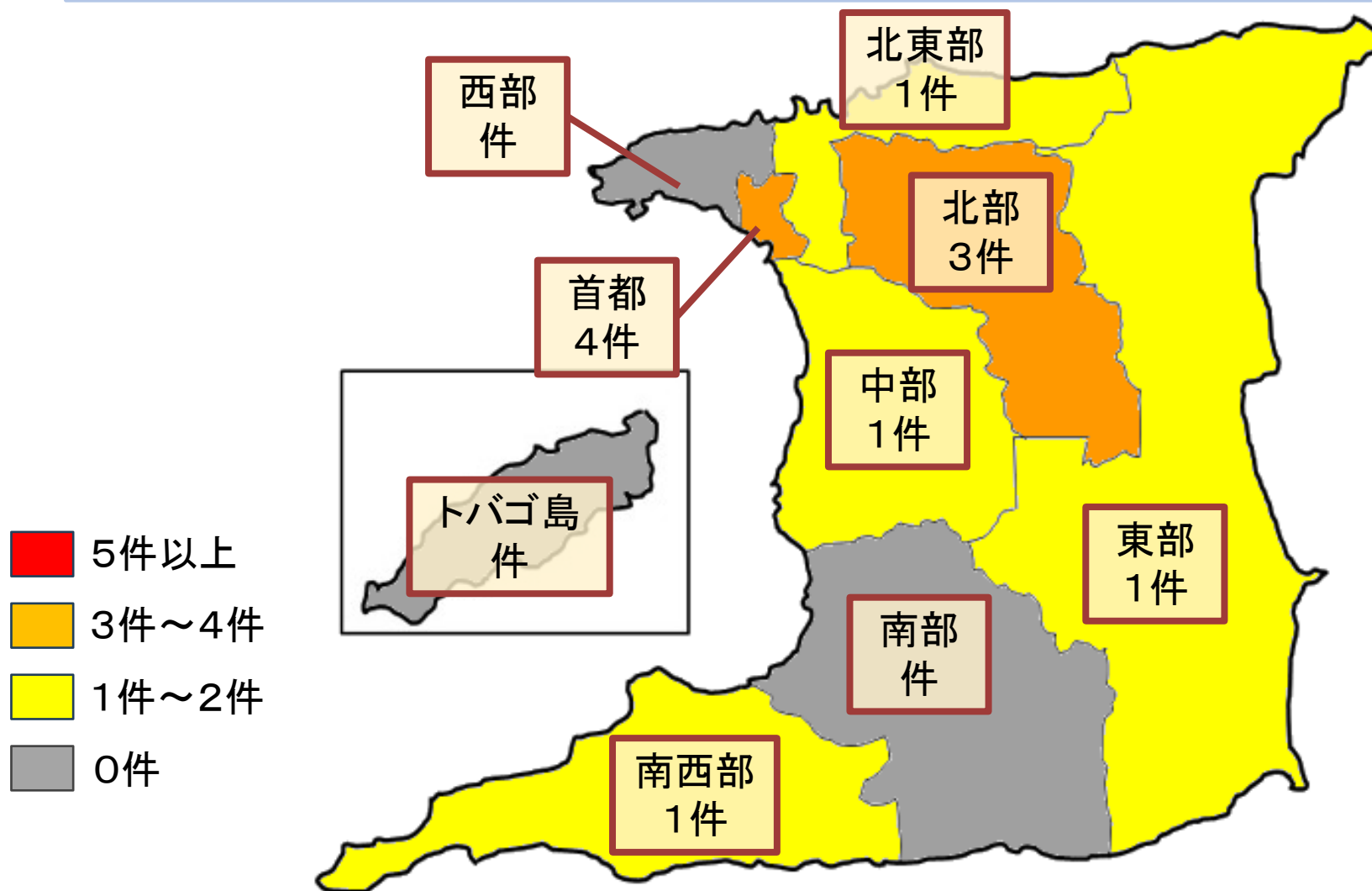


86%

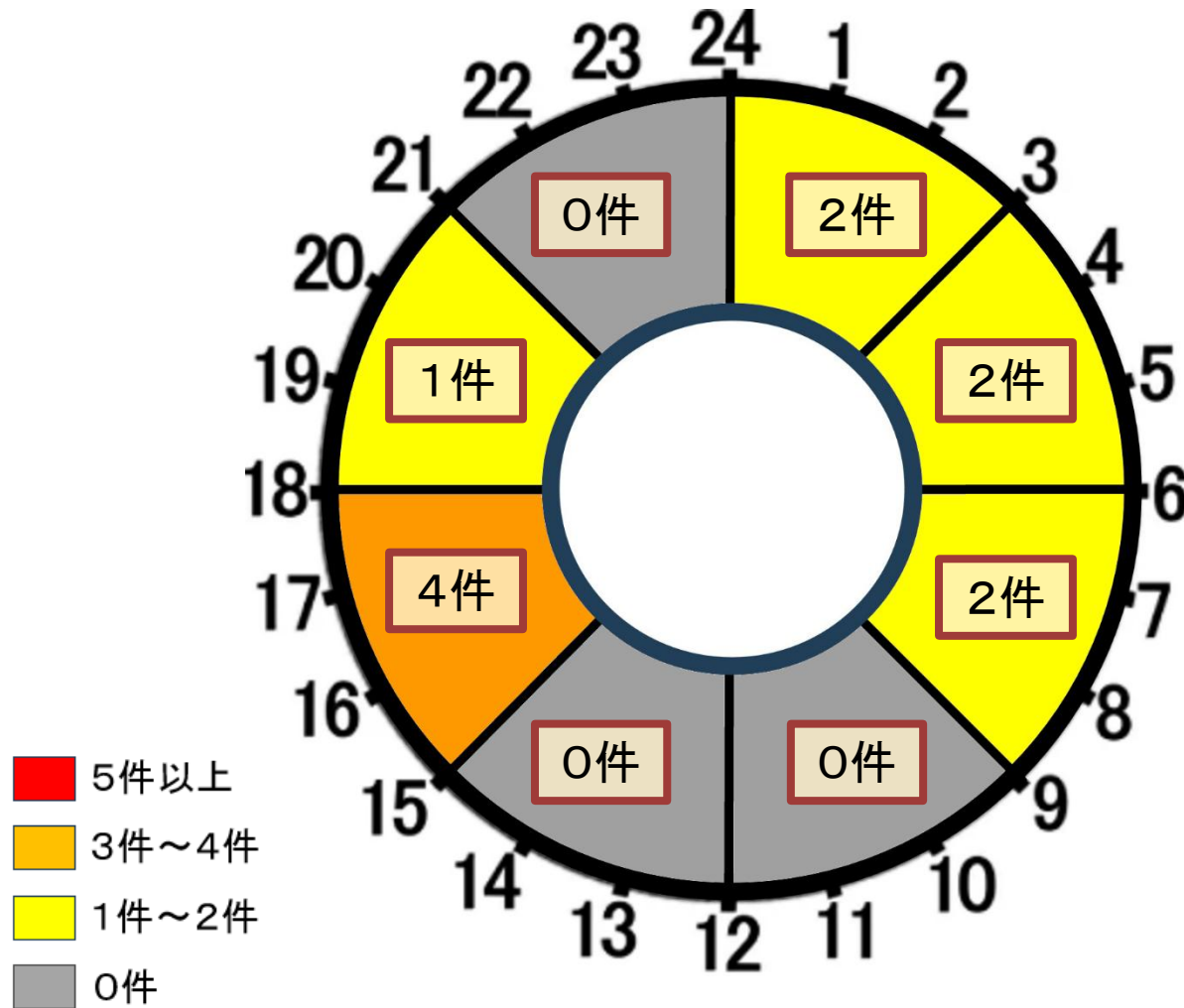
殺人・強盗事案の86%
で銃器が使用されている

公共の場での発砲事案も発生。周囲の状況に対する最大限の警戒が必須。

トリニダード・トバゴ警察方面別 殺人事件発生件数状況（2026年8月）



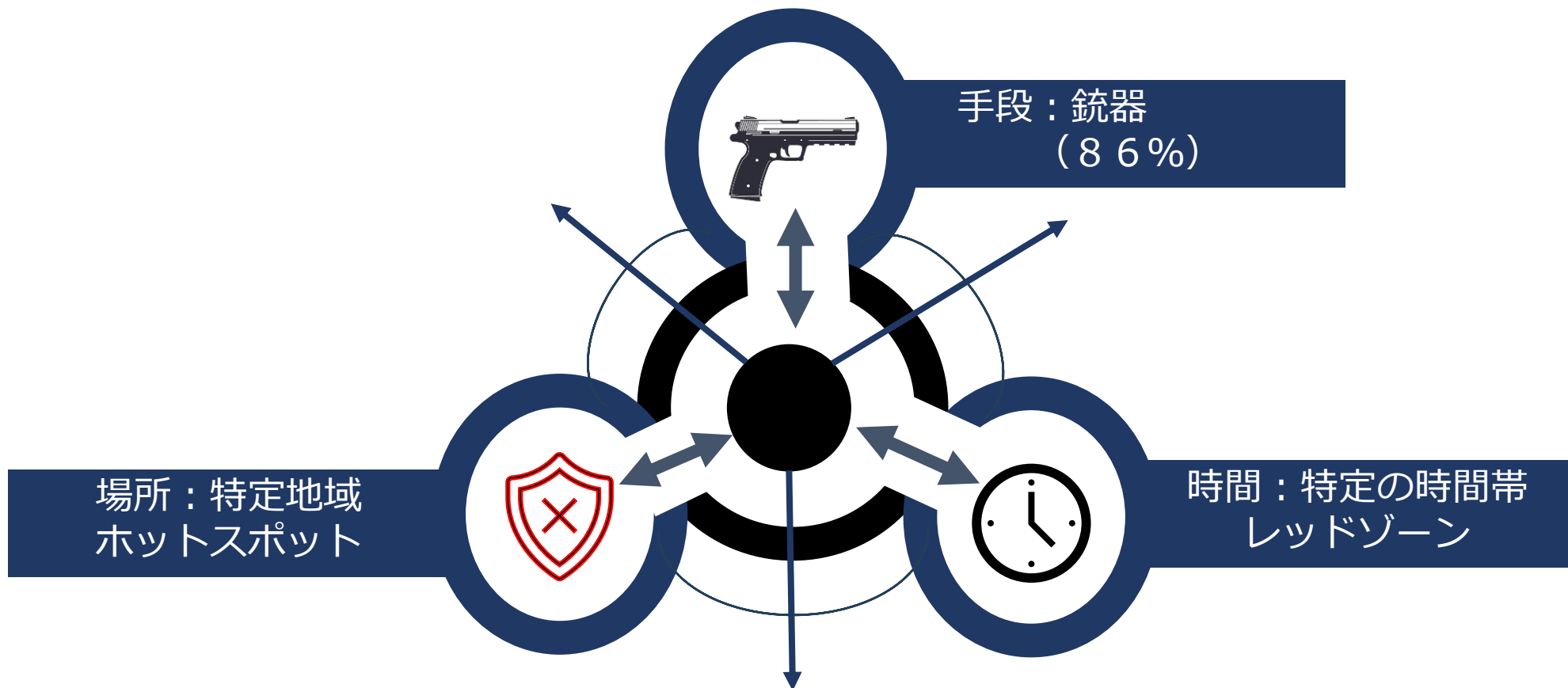
時間帯別殺人事件発生件数（2026年8月）



月間の総発生件数は前月から減少しているものの、発生時間帯の傾向を見ると、夕方から夜間（15時～21時）にかけて集中している状況に変わりはありません。

件数が減少傾向にある時間帯であっても油断せず、特に夕方・夜間の移動時には十分な防犯対策を講じてください。

危険は予測可能である



「犯罪の『手段(銃器)』『時間帯』『発生地域』には一定の傾向とパターンが存在します。これらを正しく把握・予測し、危険な時間帯や地域を避ける行動をとることで、被害に遭うリスクを大幅に低減させることが可能です。」



安全対策の基本的心構え

1	目立たない 犯罪者やテロリストは、標的を選ぶ際にまずは目立つ人物に目を付ける傾向があります。
2	行動を予知されない 行動のパターン化は、犯罪者、テロリストなどに攻撃計画を立てやすくします。
3	用心を怠らない 家族全員、組織全体で気持ちを引き締める機会を定期的に持つことが必要です。

